

(様式3)

事業所名 グループホーム ひまわり

作成日：平成29年5月2日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が2か月に1度定期的に行えるように日程調整などを検討しなければならない。	運営推進会議の定期開催する。	ご家族や関係機関に開催のお知らせを早期にし、参加して頂くように働きかける。また、地域の方へも協力を依頼し参加につなげていく。	2ヶ月～ 通年
2	10	よりご家族の率直な意見が吸い上げられるように定期的にご家族が集まる機会を設けていく必要がある。	家族会の開催を計画、開催する。	ご家族に日程を早めに知らせ、多くの家族に参加して頂くように計画していく。	6ヶ月
3	26	調査時点で介護計画書の日付に誤りがあったり、介護計画書の評価がされていない方もいるので改善しなくてはならない。	介護計画書の作成が遅れていたり、評価が遅れている箇所があり、早急に対応していく。	介護計画書を随時更新し、その時、状態にあった計画書にしていく。また、評価日などが一目でわかるように一覧にして滞りなく対応していく。	3ヶ月
4	24	ご利用者の生活歴やこれまでの暮らし方などもわかるように、フェイスシートの見直しをしていかなければならない。また、日々の生活で得られた情報についても定期的な更新を行い、職員間でも情報の共有する必要がある。	ご家族やご本人から以前の暮らしぶりなどを聞かせて頂き、フェイスシートなどに反映させていく。	ご家族が来所した際に以前の様子を伺い、フェイスシートへ反映させていく。ご家族とお話しする機会を設けて生活の様子などを教えて頂き、フェイスシート等に反映させていく。	3ヶ月
5	35	夜間を想定した避難訓練も実施し、災害時に適切な対応ができるようにしておく準備が必要である。	夜間想定をした避難訓練を行い、非常時の対応方法を習得していく。	夜間想定をした避難訓練や、職員への連絡手段などを行い、適切な対応ができるように職員全体で取り組んでいく。	6～12ヶ月

(様式3)

事業所名 グループホーム ひまわり

作成日: 平成29年5月2日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	6	ホームでも身体拘束に関する研修の機会を設け、職員に身体拘束の内容について周知する機会を持っていく。	職員全体での研修会を開催し、共通の知識を得る。	年度当初に研修計画を立てて、研修会を行う。共通の知識、意識を持つことで身体拘束の防止につなげていく。	6ヶ月
7	34	ホームでも普通救命講習会や急変時の対応の研修の機会を設け、職員が適切な初期対応ができるように習得していく必要がある。	普通救命講習会を開催し適切な対応が行える。	消防や、法人内の他の事業所とも連絡し全体での開催が行えるように計画していく。また、AEDが近所のどこにあるのかということも把握しておく。	6ヶ月
8	1	新採用職員へ理念を説明する機会を設けたり、年度目標も設定するなどし、より理念を意識できるように取り組んでいかなければならない。	理念を再検討して、年度目標を策定し、職員全体で共通意識を持って取り組める。	ミーティングで年度目標を策定する。職員全体で共通意識が持てるようにわかりやすいものを考えていく。	3ヶ月
9	11	職員会議が開催されていない時期もありましたので定期的に開催していく必要がある。	ミーティングを定期開催する。	毎月、定期的にミーティングを行い、職員それぞれの意見交換、共有をもつ機会をつくる。	1ヶ月